

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公開番号】特開 2007-221999 (P2007-221999A)

【公開日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2007-033

【出願番号】特願 2007-147609 (P2007-147609)

【国際特許分類】

H 0 2 P 21/00 (2006.01)

H 0 2 P 27/04 (2006.01)

H 0 2 P 27/08 (2006.01)

【F I】

H 0 2 P 5/408 C

H 0 2 P 7/63 3 0 2 K

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 22 日 (2008.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正弦波状の連続した電流を用いて交流電動機を駆動するインバータを制御する交流電動機の制御方法において、

直流電源がインバータへ供給する電流を検出する電流検出手段によって検出されたインバータ電流をサンプルするサンプル手段を設け、

前記搬送波信号の正のピーク値と負のピーク値の中間時刻をトリガとし、

前記サンプル手段は、前記トリガを用いて前記インバータ電流値をサンプルすることを特徴とする交流電動機の制御方法。

【請求項 2】

正弦波状の連続した電流を用いて交流電動機を駆動するインバータを制御する交流電動機の制御装置において、

直流電源がインバータへ供給する電流を検出する電流検出手段によって検出されたインバータ電流をサンプルするサンプル手段を設け、

前記搬送波信号の正のピーク値と負のピーク値の中間時刻をトリガとし、

前記サンプル手段は、前記トリガを用いて前記インバータ電流値をサンプルすることを特徴とする交流電動機の制御装置。